

研究成果報告書

課題名：

学生の職業価値観が就職活動における情報収集に与える影響－アンケート調査に基づく統計的分析－

研究担当者：

リベラルアーツ研究教育院・教授 猪原健弘

環境・社会理工学院 社会・人間科学系 社会・人間科学コース 修士2年・篠山雅美

研究成果：

本研究では、学生の職業価値観が就職活動における企業情報収集の内容および行動量に与える影響を検討するため、大学4年生および修士2年生の計229名を対象にWeb調査を実施した。職業価値観を独立変数、企業情報収集の内容と行動量を従属変数として重回帰分析を行った結果、以下の知見が得られた。

- ①「人間関係」志向は、すべての情報収集に対して正の影響を与えていた。この傾向は、特に修士2年生において顕著であった。
- ②「自己実現・独立」志向は、「キャリア・職場実態」および「企業理念・能力発揮」に関する情報収集に正の影響を与えていた。この傾向は、特に女性において顕著であった。
- ③「労働条件」志向は、「労働条件」に関する情報収集のみに留まり、その他の情報収集には影響を与えていなかった。
- ④「社会的評価」志向は、全体としてはどの情報収集にも影響を与えていなかった。しかし男女別で比較すると、女性においてのみ「企業理念・能力発揮」に関する情報収集に負の影響が見られた。
- ⑤「自己適合感」志向は、全体としてはどの情報収集にも影響を与えていなかった。しかし学年別で比較すると、修士2年生においてのみ「労働条件」に関する情報収集に負の影響が見られた。

以上の結果から、学生の職業価値観は就職活動における企業情報収集の内容や行動量に影響を及ぼすことが明らかになった。また、職業価値観によって情報収集の内容に偏りや不足が生じること、およびその影響には学年や性別による差異があることが示唆された。